

様式第4(第6条関係)

振動の防止の方法変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

会津若松市長様

届出者

会津若松市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 〇〇〇- 〇〇〇〇

振動規制法第8条第1項の規定により、振動の防止の方法の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△株式会社 △△工場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	会津若松市△△町△ 丁目△番△号	※ 受理年月日	年 月 日
振動の防止の方法	変更前	変更後	※ 施設番号
	別紙のとおり。		※ 審査結果
			※ 備考

- 備考 1 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。また、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4 とすること。
- 4 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。

別紙

振動防止の方法

	変 更 前	変 更 後
振動特定施設の種類の種類	1 金属加工機 ロ 機械プレス	1 金属加工機 ロ 機械プレス
振源での振動レベル (dB)	75 dB (機側から1 m)	75 dB (機側から1 m)
建屋の壁材質と厚さ	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇mm	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇mm
敷地境界までの距離 (m)	10 m	10 m
その他の振動防止対策	特になし	防振ゴムの設置 別途対策を行っている場合、記入
敷地境界での振動レベルの予測値 (dB)	60dB	50dB 下記の計算結果を記入
振動特定工場等の周辺の状況	周辺の状況について記入 なお、近隣50m以内に学校、保育所、病院、図書館、老人ホーム等(※詳細は <u>手引き p.5</u> を御覧ください)、がある場合は必ず記入。	
(振動の計算)	計算過程・結果を記入してください。 ※予測値が基準値を超えないよう防音対策をしてください。	

備考

- 1 その他の振動防止対策の欄には、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使

用するもの)、空気ばねの設置等の防止に関して講じようとする措置の概要を記入すること。

2 振動特定工場等の立面図を添付すること。